

第7回トレニックワールド in おごせ・ときがわ 50km&30km 環境モニタリングレポート

2018年7月17日

NPO 法人小江戸大江戸トレニックワールド
〒350-0806 埼玉県川越市天沼新田 189-10-1-101
TEL 090-1468-3311

1. 大会前、当日の気象状況

大会の2.3日前にまとまった雨が降り土壌は若干緩い状態。当日は晴。心配していたほど気温は高くなりず。

最寄りの観測所、秩父の気象データから抜粋

http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/daily_s1.php?prec_no=43&block_no=47641&year=2018&month=07&day=08&view=p1

秩父 2018年7月（日ごとの値） 主要要素

日	気圧(hPa)		降水量(mm)			気温(°C)		
	現地	海面	合計	最大		平均	最高	最低
	平均	平均		1時間	10分間			
<u>1</u>	990.9	1017.2	—	—	—	28.1	34.1	21.7
<u>2</u>	987.3	1013.4	—	—	—	28.6	35.2	22.2
<u>3</u>	981.7	1007.7	—	—	—	28.3	34.7	23.4
<u>4</u>	976.4	1002.5	0.0	0.0	0.0	25.7	30.8	22.2
<u>5</u>	977.5	1003.8	7.5	4.5	1.0	24.4	26.4	22.7
<u>6</u>	983.7	1010.5	20.5	6.0	2.5	20.8	23.0	18.4
<u>7</u>	986.0	1012.9	0.5	0.5	0.5	19.9	21.5	18.0
<u>8</u>	989.1	1015.8	0.0	0.0	0.0	23.5	27.9	19.6

2. モニタリング調査結果

- ・写真調査は、7月8日（日）大会当日、選手通過直後に実施
- ・ハイカーへのヒヤリングは堂平キャンプ場にて予定するも、担当者が失念、未実施（課題）

A 傘杉峠から花立松峠に至る下り

緯度経度：35度56分33秒 139度13分51秒

選定理由：下りで土壌がゆるい場所

大会前



大会後



雨天後で土壌は緩んでいたが、走行による掘削影響は少ないように思える。

B 刈場坂峠から大野峠に至る岩場所

緯度経度：35度58分32秒 139度10分31秒

選定理由：岩の崩壊状況観察、脇トレイルの広がり状況

大会前



大会後



走行後、脇のトレイルが拡張しているようには見えない。

反対から見た図

大会前



大会後



トレイルは広がっていない

崩壊中の岩の状況

大会前



大会後



崩壊は進んでいない

C 大野峠からの下り木階段と脇道

緯度経度：35度59分10秒 139度10分13秒

選定理由：木階段脇への影響、トレイル上植生への影響

大会前-1



大会後-1



階段脇を通行しているが、トレイルが広がっているわけではない。

その2

大会前-2



大会後-2



トレイル脇を走行している。また、トレイル中央にある草は踏まれている。

大会前



大会後



トレイル脇の植物が踏まれている。

D 白石峠へ至る下り木階段

緯度経度：35度59分52秒 139度10分41秒

選定理由：土壌への影響、階段脇通行の確認

大会前



大会後



階段脇の道を下っている足跡がある

3. 写真観察所感

大会前の雨から中1日空いたこともあり土壌への影響は少なかった印象。

白石峠の木階段は一部崩壊（土嚢が踏圧により下がってしまい階段の機能を有さない）が進み、以前のような危うい段差になりつつある。滑ることを回避するため階段脇を通行している様子が観察できた。

階段の崩壊状況と天候によってはコース変更も検討が必要。

4. その他

コース誘導の矢印が悪戯により反対方向に付け替えられている箇所があり、参加者の一部が間違った方向へ誘導されてしまった。山中での間違った誘導は、遭難や傷病（この時期であれば脱水、熱中症）などの事故を誘発するもので非常に危険です。

これまでも、矢印が外されていたり、無くなってしまうことが度々あり、今後は、矢印や案内の設置時期や内容について検討していくとともに、危険な行為を防止するため外部機関にも、相談、協議していきたいとかがえています。